

年 組 名前：

木の上の白い泡 何が出てくる？

中央市豊富地区で、モリアオガエルが産卵期を迎えています。水辺の木の上に綿菓子のような白い泡状の卵の塊が産みつけられ、住民が見守っています。中央市の水上豪さんが所有する畑では6年ほど前から、水たまりにかかる桑の木で産卵が行われるようになりました。産卵期を迎えると、木の周辺で「ココッコッ」と独特の鳴き声が聞こえるとい



います。今年は例年より10日ほど早く、5月2日に最初の卵の塊を確認しました。忍野村の県立富士湧水の里水族館によると、産卵は4～7月に行われ、ピークは6月ごろ。水辺にせり出した木などに直径15～20mmの卵の塊を作り、300～800個の卵を産みます。1週間ほどでふ化し、雨で泡が崩れるなどしてオタマジャクシが出てくるといいます。

産み付けられたモリアオガエルの卵の塊 中央市大鳥居

(2023年6月8日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1

モリアオガエルは、どこに、どのような卵を産みますか。

- ・どこに：
- ・どのような卵：

問2

モリアオガエルは、産卵期を迎えると、どのような鳴き声で鳴きますか。

.....

問3

卵から、どのようにしてオタマジャクシは、出てきますか。

.....